

事業所における自己評価結果(公表)

児童発達支援分

公表:平成31年03月01日

事業所名 音楽療育おとゆいキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	2	少人数で指導訓練を行っている	年齢や時間を区切ってスペースを確保しながら行っている
	2	職員の配置数は適切である	11		ほぼ、マンツーマン対応ができています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	4	一日にプログラムを組んで時間軸に沿って動いている	視覚教材や個別ボードを提示して構造化を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1	消毒は都度行い、子どもの様子に合わせて活動空間を確保している	活動時に危険の内容に常に配慮を怠らず動いている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2	常勤ほか一部の職員間で業務改善を行っている。	非常勤も入りながら広く参画していけるように工夫したい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2		通信紙で集計をお知らせし、今後も保護者から意見を伺って業務改善につなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11		公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		11	第三者評価は受けていない	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1	確保している	今後も広く職員に研修の機会を設けていく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1	分析しながら随時行っている	標準化したアセスメントツールを使用し、さらに構築していきたい
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	4	試みているところである	徹底するように努力している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	2	必要な項目を選択して支援を行っている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	1	行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	行っている	児童発達管理責任者と音楽講師を中心にさらに強化していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	工夫している	季節、子どもの特性に応じて工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1	組み合わせで行っている	個別課題と集団課題ともに、様々な目標を設定して行っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1	常勤職員で行っている	非常勤には、都度確認して行っている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	3	常勤職員で行っている	非常勤には、都度確認して行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1	記録を取り検証・改善につなげている	さらに徹底していきたい
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1	モニタリングから支援計画を判断している	保護者と連携して、きめ細かなモニタリングを行っていく
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1	参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	5	必要があれば行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	該当児が不在	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	該当児が不在	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	4	必要があれば行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1	行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	1	関係会議ほか連携している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	9	特に機会を設けていない	機会をつくって設けていきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	8	機会があれば参加する	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1	持っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	8	工夫している	不十分な点もあるのでしっかりと伝えていきたい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	1	同意を得ている	支援内容の詳細な説明は、都度行うようにしていきたい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	3	要望があれば行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	8	2か月に1回行っていた	保護者の参加率に関わらず定期的に開催していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1		対応の体制を整備していきたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	2か月に1回会報を発行している	イベントや行事予定、変更等のお知らせは都度連絡している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	1	注意している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	配慮している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	1	年一回のコンサート事業を中心に発信している	ホームページやフェイスブックで都度、行事予定を発信している
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	1	マニュアルは設定している	発生を想定して、機敏に動けるような訓練を行っていきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1	年2回、自衛訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	全体会議で確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/	該当児不在	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		共有している	少しずつ全職員に浸透してきている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		対応をしている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	4	組織的に決定するようにしたい	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

放課後等デイサービス分

公表:平成31年3月01日

事業所名 音楽療育おとゆいキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	3	個人および小人数で指導訓練を行っている	年齢や時間を区切ってスペースを確保しながら行っている
	2	職員の配置数は適切である	12		適切である	個別対応を心掛けた配置体制を工夫している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	5	段差を解消している	事業所が一戸建てのため、構造的に難しい面があるが危険な所は都度改修を行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11	1	常勤ほか一部の職員間で業務改善を行っている	非常勤職員も入り広く参画していけるように工夫したい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	3	つなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12		公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	12	第三者評価を受けていない	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	確保している	今後も広く職員に研修の機会を設けていく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	分析しながら随時行っている	標準化したアセスメントツールを使用して、さらに構築していきたい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	8	試みているところである	職員の力量不足もあり、徹底できていない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	3	行っている	管理責任者と音楽講師を中心にさらに強化していく所存である
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	3	工夫している	季節、子どもの特性に応じて工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	5	支援している	さらにきめ細かやかに設定していきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	0	組み合わせて行っている	個別課題と集団課題ともに、様々な目標を設定して行っている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	2	常勤職員で行っている	非常勤職員には、都度、確認して行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	7	常勤職員で行っている	非常勤職員には、都度、確認して行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	3	記録を取り、検証・改善につなげている	さらに徹底していきたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	4	モニタリングから支援計画を判断している	保護者と連携して、きめ細かにモニタリングを行っていきたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	6	行っている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	2	参画している	児発管もしくは、状況に精通した職員が参画している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	2	適切に行っている	月間予定表や行事予定表から、送迎時間の確認を行いトラブル防止に繋げている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	該当児ない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	5	務めている	引継ぎ時に情報共有に努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	該当児ない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	5	受けている	引継ぎ時に受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	7		機会があれば交流していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	7	事業所のイベント等は発信依頼している	積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	2	モニタリング時に聞き取り調査を行っている	三ヶ月と、六ヶ月毎にモニタリングを行っている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	3		保護者のニーズにより随時行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12		説明を行っている	変更があれば、都度、連絡している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	3	行っている	保護者からの要望があれば都度行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	3	努力している	5月に参観日週間、11月、12月など子どもの発表の機会をつくり参観日を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	1	迅速に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	1	2か月に1回会報を発行している	活動予告やイベント他お知らせがあれば、都度、保護者にお手紙で連絡している
	35	個人情報に十分注意している	11	1	注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	1	配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	7	年1回(夏)コンサートを開催している	ホームページ、Facebook、ブログ等で、都度発信している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	0	マニュアルを策定している	保護者への周知は万全ではないため、会報等で発信していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	自衛訓練を年2回行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1	研修は受けている	伝達研修として、受けてきた内容を全職員に周知している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	8		組織的な話し合いを行っていきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当児不在	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	共有している	